

2013年度の産学連携プログラムの実施状況

Industry-University Consortium on Logistics

流通経済大学流通情報学部では、2010年度からロジスティクス産学連携プログラムを正式に立ち上げました。今年度が4年目であり、プログラムが確実に定着してきました。プログラムの講師は、ロジスティクス関連の業界団体、物流業、運輸業、メーカー、卸売業、小売業、コンサルタントなど、企業を中心とした幅広い人材で構成されております。

ロジスティクス産学連携プログラムとして、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の6科目、さらに関連する寄付講座として、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」、「日本通信販売協会寄付講座」の3科目があります。2013年度の実施状況の概要をご報告させていただきます。

①「ロジスティクス実践講座」の2013年度の実施状況

「ロジスティクス実践講座」は、荷主企業等を中心にロジスティクス実務者を招き、各企業のロジスティクスシステムの現状を学び、ロジスティクスの考え方を現場から考えていくことを目標としています。また、環境問題あるいは安全・安心といった新たな問題についても学びます。ロジスティクス実践講座Ⅰが春学期、ロジスティクス実践講座Ⅱが

秋学期に、龍ヶ崎、新松戸の両キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表1、表2のとおりです。新松戸の受講生数は春学期46人、秋学期41人でした。龍ヶ崎の受講生数は春学期31人、秋学期34人でした。

②「物流マネジメント実践講座」の2013年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラック、鉄道、3PL等の物流事業者及び有識者を招き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物流戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスで、秋学期は龍ヶ崎キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表3、表4のとおりです。新松戸の受講生数は26人、龍ヶ崎の受講生数は8人でした。

③「国際物流実践講座」の2013年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わる経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国際物流の現状と課題を把握するとともに今後の展望を学修することを目標としています。春学期に半期科目として、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表5のとおりです。受講生数は41人でした。

表1 「ロジスティクス実践講座－新松戸」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ロジスティクス実践講座ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	ロジスティクスの基礎知識	流通経済大学 矢野裕児
3	企業のロジスティクス戦略の変遷－1	日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷－2	日通総合研究所 廣瀬吉英氏
5	物流改善のポイントは－1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
6	物流改善のポイントは－2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
7	都市内物流の効率化について	日通総合研究所 大島弘明氏
8	ロジスティクス分野における環境政策の動向	みずほ情報総研 秋山浩之氏
9	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム 藤田光樹氏
10	ロジスティクスの最新動向	日通総合研究所 山田健氏
11	ロジスティクスと環境－環境問題とグリーン物流－	ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
12	ロジスティクスと環境－リコーロジスティクス環境活動事例－	ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
13	流通業におけるロジスティクスの展望	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏(三菱食品)
14	春学期まとめ	流通経済大学 矢野裕児
15	秋学期ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
16	ロジスティクスと包装	ティ・エス・ケイ 橋爪文彦氏
17	トラック輸送の実態と未来像	日通総合研究所 大島弘明氏
18	物流改善の営業事例	ロジスティクス・ネットワーク 立川哲二氏
19	地域の活性化と物流	あんしん 雨宮路男氏
20	菓子物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス 一山幸市氏
21	ハウス食品のSCMの展開とロジスティクスシステム	ハウス物流サービス 早川哲志氏
22	変化に対応する花王のSCM	花王 山口裕人氏
23	マーケットプレイスの仕組み	インフォーマット 藤田尚武氏
24	味の素のロジスティクス	ファイネット 恒吉正浩氏
25	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送 結束洋氏
26	JR貨物の現状	日本貨物鉄道 神立哲男氏
27	日本の食品問屋について、環境負荷数値低減システム	国分 山田英夫氏
28	ロジスティクス概説	元日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
29	リバースチェーンを組み込んだ動静脈－貫物流	生活協同組合連合会コープネット事業連合 齊藤勉氏
30	講義のまとめ	流通経済大学 矢野裕児

表2 「ロジスティクス実践講座－龍ヶ崎」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ロジスティクス実践講座ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	ロジスティクスの基礎知識	流通経済大学 矢野裕児
3	企業のロジスティクス戦略の変遷－1	日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷－2	日通総合研究所 廣瀬吉英氏
5	物流改善のポイントは－1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
6	物流改善のポイントは－2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
7	都市内物流の効率化について	日通総合研究所 大島弘明氏
8	ロジスティクス分野における環境政策の動向	みずほ情報総研 秋山浩之氏
9	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム 藤田光樹氏
10	ロジスティクスと包装	ティ・エス・ケイ 橋爪文彦氏
11	流通業におけるロジスティクスの展望	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏(三菱食品)
12	ロジスティクスと環境－環境問題とグリーン物流－	ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
13	ロジスティクスと環境－リコーロジスティクス環境活動事例－	ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
14	ロジスティクスの最新動向	日通総合研究所 山田健氏
15	春学期まとめ	流通経済大学 矢野裕児
16	秋学期ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
17	トラック輸送の実態と未来像	日通総合研究所 大島弘明氏
18	フェリー輸送の特性と震災対応	オーシャントランス 辰巳順氏
19	味の素のロジスティクス	ファイネット 恒吉正浩氏
20	ロジスティクスファイナンスの考え方	日通キャピタル 村上正弘氏
21	物流改善の営業事例	ロジスティクス・ネットワーク 立川哲二氏
22	菓子物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス 一山幸市氏
23	ハウス食品のSCMの展開とロジスティクスシステム	ハウス物流サービス 早川哲志氏
24	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送 結束洋氏
25	リバースチェーンを組み込んだ動静脈－貫物流	生活協同組合連合会コープネット事業連合 齊藤勉氏
26	コールドチェーンの現状と課題	電気冷凍車普及会 櫻井保氏
27	日本の食品問屋について、環境負荷数値低減システム	国分 山田英夫氏
28	ロジスティクス概説	元日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
29	秋学期まとめ	流通経済大学 矢野裕児

ロジスティクス産学連携コンソーシアムの紹介

表3 「物流マネジメント実践講座－春学期、新松戸」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	運輸・物流研究室 中田愛子氏
4	通販物流システムの概要	運輸・物流研究室 中田愛子氏
5	市場流通の動向と市場物流の実際	コンサル アグリ 藤井憲雄氏
6	重量品輸送	日本通運 福島茂明氏
7	経営戦略の中での物流の位置づけ/役割	金方堂運輸 松本有司氏
8	ロジスティクス分野のIT活用事例	野村総合研究所 足立研二氏
9	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道 木林徳彦氏
10	内航海運の現状	海上技術安全研究所 間島隆博氏
11	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸 中山貴宏氏
12	メーカーと物流子会社の関係・役割	ファイネット 恒吉正浩氏
13	3PLの役割と実例	川崎陸送 樋口恵一氏
14	物流における倉庫の役割	日本通運 佐藤健吾氏
15	講義の復習とまとめ	流通経済大学 小野秀昭

表4 「物流マネジメント実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	運輸・物流研究室 中田愛子氏
4	物流における倉庫の役割	日本通運 佐藤健吾氏
5	メーカーと物流子会社の関係・役割	ファイネット 恒吉正浩氏
6	3PLの役割と実例	川崎陸送 樋口恵一氏
7	経営戦略の中での物流の位置づけ/役割	金方堂運輸 松本有司氏
8	重量品輸送	日本通運 福島茂明氏
9	ロジスティクス分野のIT活用事例	野村総合研究所 足立研二氏
10	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸 中山貴宏氏
11	内航海運の現状	海上技術安全研究所 間島隆博氏
12	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	JR貨物・リサーチセンター 大熊真理子氏
13	市場流通の動向と市場物流の実際	コンサル アグリ 藤井憲雄氏
14	講座の復習とまとめ	流通経済大学 小野秀昭
15	講座の復習とまとめ	流通経済大学 小野秀昭

表5 「国際物流実践講座」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	電気機械製造業者の国際物流管理(1)	東芝物流 手塚了嗣氏
3	電気機械製造業者の国際物流管理(2)	東芝物流 手塚了嗣氏
4	ロシアの最新物流事情	環日本海経済研究所 辻久子氏
5	船会社の国際物流戦略	オーシャントランス 辰巳順氏
6	航空会社の国際物流戦略(1)	全日本空輸 片岡和民氏
7	航空会社の国際物流戦略(2)	全日本空輸 片岡和民氏
8	航空フォワーダーの国際物流戦略	日本通運 森川智太氏
9	中間まとめ	流通経済大学 林克彦
10	商社の国際物流管理	アジア住友商事 河野達也氏
11	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運 織田博文氏
12	物流企業の海外展開(中国)	日本通運 鳴島猛氏
13	船会社の国際物流戦略	日本郵船 堀内秀人氏
14	ASEANの最新物流事情	日通総合研究所 山口修氏
15	講義のまとめ	流通経済大学 林克彦

④「情報システム実践講座」の2013年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流分野などに利用されている情報システムやその要素

技術などに関わる実務者を講師として招き、具体的事例を通して最近の動向や課題などについて学びます。また、システムやネットワークの設計・開発の手法についても学びます。

表6 「情報システム実践講座－春学期、新松戸」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	SCMにおける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン 傘義冬氏
3	IT業界でのキャリアパスと就職研究	ヒューマネテック 松下雄二氏
4	情報システムを活用したロジスティクスの最適化	日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
5	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック 田中裕樹氏
6	物流情報システムに関する標準規格概論	オフィス・ロン 吉本隆一氏
7	物流の効率化とこれからの取り組み	日通総合研究所 要藤洋文氏
8	本人認証学への入門	エスアイリサーチ 宇都宮康夫氏
9	ロジスティクスと情報システム	フレームワークス 秋葉淳一氏
10	サプライチェーン情報の活用とその効果	日本ユニシス 澤上多恵子氏
11	TMSの現状と今後の課題	光英システム 三輪宏氏
12	現場力強化のための物流技術	MTI 粟本繁氏
13	パレットにおけるRFIDの利用	日本パレットレンタル 永井浩一氏
14	電子自治体の推進について	地方自治情報センター 井上賀博氏
15	講義のまとめ	流通経済大学 増田悦夫

表7 「情報システム実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	SCMにおける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン 傘義冬氏
3	情報システムを活用したロジスティクスの最適化	日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
4	ロジスティクスと情報システム	フレームワークス 秋葉淳一氏
5	物流情報システムに関する標準規格概論	オフィス・ロン 吉本隆一氏
6	現場力強化のための物流技術	MTI 粟本繁氏
7	本人認証学への入門	エスアイリサーチ 宇都宮康夫氏
8	IT業界でのキャリアパスと就職研究	ヒューマネテック 松下雄二氏
9	サプライチェーン情報の活用とその効果	日本ユニシス 澤上多恵子氏
10	電子自治体の推進について	地方自治情報センター 井上賀博氏
11	パレットにおけるRFIDの利用	日本パレットレンタル 永井浩一氏
12	物流の効率化とこれからの取り組み	日通総合研究所 要藤洋文氏
13	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック 田中裕樹氏
14	TMSの現状と今後の課題	光英システム 三輪宏氏
15	講義のまとめ	流通経済大学 増田悦夫

半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスにて、秋学期は龍ヶ崎キャンパスにて開講しました。各回のテーマ、講師は表6、表7のとおりです。新松戸の受講生数は42人、龍ヶ崎の受講生数は24人でした。

⑤ 「ロジスティクス企業訪問講座」の2013年度の実施状況

企業がロジスティクスをどのように考え、システムを構築しているかについて、企業訪問を通じて考察します。実際の現場を訪問することによって、学生が実感として理解することを目標としています。2013年度は11箇所を訪問し、現場でロジスティクス担当者が

概説し、物流現場を実際に見学しました。半期科目で、企業訪問を実施することから、夏季休暇中の9月に集中講義で、開講しました。各回のテーマ、訪問先は表8のとおりです。新松戸の受講生数は7人、龍ヶ崎の受講生数は8人でした。

⑥ 「ロジスティクス改善演習」の2013年度の実施状況

「ロジスティクス改善演習」では、物流部門の現場で発生する課題を題材として取り上げ、現状の問題点の整理を行い、各種手法を用いて改善案を検討します。この演習を受講することにより、物流システムに関する理解

表8 「ロジスティクス企業訪問講座」の2013年度の実施結果

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・訪問スケジュール ・訪問時の注意事項	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
3	東京ミッドタウン共同荷受けの見学	佐川急便
4	鉄道貨物駅の見学	東京貨物ターミナル駅
5	食品メーカーの物流センター見学	ハウス食品
6	通信販売の物流センター見学	ペルーナ物流センター
7	物流改善事例の説明、物流機器の見学	トヨタL&Fカスタマーズセンター
8	メーカーから物流業務を委託された物流センターの見学	十和運送
9	小売業の物流センター見学	カスミ中央流通センター
10	治療食を扱う物流センターの見学と改善事例	療食サービス
11	菓子メーカーの物流センター見学	スナックフードサービス
12	卸売業の物流センターの見学	トラスコ中山
13	小売店(ケーヨーデイツー)向け物流センターの見学	センコー

表9 「ロジスティクス改善演習」の2013年度の実施結果

回	テーマ	内容
1	ロジスティクス改善演習ガイダンス	講義の内容、目的、評価方法を理解し、日程および訪問場所を確認する。
2	物流システム見学1	トヨタL&Fを訪問し、最新の物流システムを見学し、物流改善に関する講義を受講する。
3	物流システム見学2	トヨタL&Fを訪問し、最新の物流システムを見学し、物流改善に関する講義を受講する。
4	ミニチュアモデルによる設備配置1	方眼紙を用いて、倉庫およびラックのミニチュアモデルを作成する。
5	ミニチュアモデルによる設備配置2	ミニチュアモデルを用いたシミュレーションを用いてにより、物流施設内のラック配置を設計する。
6	ミニチュアモデルによる倉庫設備3	総移動距離などを算出し、提案した設計案を評価し、レポートを作成する。
7	RALCによるラック配置設計1	ミニチュアモデルにより作成したラック配置案に対応するRALCシミュレーションモデルを作成し、シミュレーションを行い、設計案を評価する。
8	RALCによるラック配置設計2	RALC上で、ラック配置を改善したモデルを作成し、シミュレーションを行い、改善案を評価する。
9	RALCによるラック配置設計3	RALCシミュレーションの各モデルについて分析し、レポートを作成する。
10	ビールゲーム 1	ビールゲームの概要を理解し、ビールゲームの実施方法を習得する。
11	ビールゲーム 2	ビールゲームを実施する。
12	ビールゲーム 3	ビールゲームを実施する。
13	ビールゲーム 4	エクセルを用いて、ビールゲームの結果を評価・分析し、レポートを作成する。
14	まとめ	全体のまとめを行う。

を深め、分析手法を習得するとともに、分析能力や改善案を提案できる能力を習得することを目標としています。半期科目として、龍ヶ崎キャンパスで実施し、また物流の現場を理解するために物流企業も見学しました。各回の内容は表9のとおりです。受講生数は34人でした。

⑦ 「日本通運寄付講座」の2013年度の実施状況

「日本通運寄付講座」は、「21世紀の物流と今後の展望」をテーマとして、日本通運とグループ企業の役職者および日通総合研究

所の専門家が講師を担当します。日本最大のグローバル・ロジスティクス・ソリューション企業の立場から、単に国内外の物流・ロジスティクス分野だけの講義にとどまらず、広く経済問題や社会問題、環境問題、雇用問題（就活）に対するものの見方や考え方を、実務体験に基づいて、実践的な講義を行います。通年科目であり、新松戸キャンパスは、春学期を日本通運とグループ企業の役職者、秋学期を日通総合研究所の長谷川雅行氏が、龍ヶ崎キャンパスは、春学期を日通総合研究所の長谷川雅行氏、秋学期を日本通運とグ

表10 「日本通運寄付講座—新松戸」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	本講座の狙いと主な内容、講師陣の紹介および成績評価等について	流通経済大学 吉村章
2	企業が求める人材とは	総務・労働部 秋田進氏
3	トラック事業(特別積合せ事業)の概要について	日通トランスポート 川目俊夫氏
4	荷主企業の海外進出に対するソリューションの提供	グローバルロジスティクスソリューション部 小川正志氏
5	グローバル経済化がもたらすロジスティクストレンドの変化	営業企画部 勅使河原徹氏
6	物流と環境問題	環境・社会貢献部 矢部泰弘氏
7	ロジスティクスサービスにおける商流機能について	日通商事 磯野聡氏
8	物流業における広報活動について	広報部 山本慎二氏、長敬子氏
9	物流業におけるコンプライアンス	業務部 佐久間文彦氏
10	物流におけるIT(情報システム)の活用	IT推進部 野口雄志氏
11	物流産業界の概要(陸海空の輸送会社)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
12	消費者物流(引越、宅配、各種サービス)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
13	物流政策(日本・海外の物流政策、「物流施策大綱」などの解説)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
14	まとめと質問等への一括回答	流通経済大学 吉村章
15	課題の提出および授業アンケートの記入	流通経済大学 吉村章
16	本講座の狙いと主な内容、講師陣の紹介および成績評価等について	流通経済大学 吉村章
17	運送から物流まで	日通総合研究所 長谷川雅行氏
18	ロジスティクスからSCMまで	日通総合研究所 長谷川雅行氏
19	輸配送I(陸運=自動車・鉄道)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
20	輸配送II(海運・港湾)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
21	輸配送III(航空)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
22	輸配送IV(配送・モーダルシフト)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
23	保管・在庫管理	日通総合研究所 長谷川雅行氏
24	包装(外装・内装・個装あるいは輸送包装と商業包装)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
25	荷役(標準化・一貫バレーゼーション)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
26	流通加工	日通総合研究所 長谷川雅行氏
27	物流コスト(物流共同化を含む)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
28	物流サービス(サービス水準、品質管理など)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
29	まとめと質問等への一括回答	流通経済大学 吉村章
30	課題の提出および授業アンケートの記入	流通経済大学 吉村章

表11 「日本通運寄付講座—龍ヶ崎」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	本講座の狙いと主な内容、講師陣の紹介および成績評価等について	流通経済大学 吉村章
2	運送から物流まで	日通総合研究所 長谷川雅行氏
3	ロジスティクスからSCMまで	日通総合研究所 長谷川雅行氏
4	輸配送I(陸運=自動車・鉄道)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
5	輸配送II(海運・港湾)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
6	輸配送III(航空)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
7	輸配送IV(配送・モーダルシフト)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
8	保管・在庫管理	日通総合研究所 長谷川雅行氏
9	包装(外装・内装・個装あるいは輸送包装と商業包装)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
10	荷役(標準化・一貫バレーゼーション)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
11	流通加工	日通総合研究所 長谷川雅行氏
12	物流コスト(物流共同化を含む)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
13	物流サービス(サービス水準、品質管理など)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
14	まとめと質問等への一括回答	流通経済大学 吉村章
15	課題の提出および授業アンケートの記入	流通経済大学 吉村章
16	本講座の狙いと主な内容、講師陣の紹介および成績評価等について	流通経済大学 吉村章
17	企業が求める人材とは	総務・労働部 秋田進氏
18	トラック事業(特別積合せ事業)の概要について	日通トランスポート 川目俊夫氏
19	荷主企業の海外進出に対するソリューションの提供	グローバルロジスティクスソリューション部 小川正志氏
20	グローバル経済化がもたらすロジスティクストレンドの変化	営業企画部 勅使河原徹氏
21	物流と環境問題	環境・社会貢献部 矢部泰弘氏
22	ロジスティクスサービスにおける商流機能について	日通商事 磯野聡氏
23	物流業における広報活動について	広報部 山本慎二氏、長敬子氏
24	物流業におけるコンプライアンス	業務部 佐久間文彦氏
25	物流におけるIT(情報システム)の活用	IT推進部 野口雄志氏
26	物流産業界の概要(陸海空の輸送会社)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
27	消費者物流(引越、宅配、各種サービス)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
28	物流政策(日本・海外の物流政策、「物流施策大綱」などの解説)	日通総合研究所 長谷川雅行氏
29	まとめと質問等への一括回答	流通経済大学 吉村章
30	課題の提出および授業アンケートの記入	流通経済大学 吉村章

表12 「全国通運連盟寄付講座」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	物流と通運の歴史	物流博物館 玉井幹司氏
3	地球環境問題とモーダルシフト	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ 小林信之氏
4	JR貨物に関する知識(1) 鉄道貨物輸送の現状と今後	JR貨物 松本尚士氏
5	JR貨物に関する知識(2) 貨物列車の輸送のしくみ	JR貨物 高澤弘人氏
6	鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトの実際(1)	日本通運 杵淵満氏
7	鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトの実際(2)	合通 高橋宏樹氏
8	鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトの実際(3)	磐城通運 鈴木孝雄氏
9	鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトの実際(4)	日本ロジスティクスシステム協会 荻原克郎氏
10	国際物流の動向と鉄道利用運送事業者の役割	流通経済大学 林克彦
11	企業物流の中の鉄道貨物輸送(1)	月島食品工業 平間茂氏
12	企業物流の中の鉄道貨物輸送(2)	ブルボン 稲田浩氏
13	鉄道コンテナ輸送の今後	全国通運連盟 西濱公樹氏
14	日本経済と鉄道貨物輸送ネットワークのあり方について	流通経済大学 林克彦
15	講義のまとめ	流通経済大学 林克彦

表13 「日本通信販売協会寄付講座」の2013年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	ダイレクト・マーケティングの発展過程と動向	日本通信販売協会 柿尾正之氏
3	データでみる通販市場	日本通信販売協会 三浦千宗氏
4	顧客対応からみた通販	日本通信販売協会 八代修一氏
5	高島屋通販事業の歩みと百貨店通販のこれからの展望	高島屋 倉田宏之氏
6	Scroll Innovation スクロールの変遷と今後の展開	スクロール 高山隆司氏
7	地方発産直通販の現状	ふくや 平山高久氏
8	顧客満足作りのポイント 『購入後満足』と『個性化』をいかに具体化するか	カタログハウス 松尾隆久氏
9	リーダーシップ論/ヒット商品を売り続ける秘訣	オークローンマーケティング 堀秀樹氏
10	ディノスのメディア戦略	ディノス 廣瀬雅人氏
11	Eコマースの今と楽天の戦略	楽天 藤田浩平氏
12	インターネット通販の展開	千趣会 中山茂氏
13	オットー・ジャパンの国内・海外でのフルフィルメントサービスと その事例～顧客から求められるフルフィルメントサービスとは	オットー・ジャパン 勝井武二氏
14	まとめ ダイレクト・マーケティングとロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児

ループ企業の役職者が担当しました。各回のテーマ、講師は表10、表11のとおりです。新松戸の受講生数は91人、龍ヶ崎の受講生数は26人でした。

⑧「全国通運連盟寄付講座」の2013年度の実施状況

「全国通運連盟寄付講座」は、鉄道貨物輸送をテーマとして、物流博物館、JR貨物、鉄道利用運送事業者、荷主企業の実務者を招き、鉄道貨物輸送の現状、課題、今後の展望を広く学びます。半期科目であり、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表12のとおりです。下記の講義以外に夏

休み期間中に、事前講習として東京貨物ターミナル駅の見学を実施しました。受講生数は62人でした。

⑨「日本通信販売協会寄付講座 ダイレクト・マーケティング論」の2013年度の実施状況

「日本通信販売協会寄付講座」は、近年、市場が大きく拡大している通信販売、ネット販売といったダイレクト・マーケティングをテーマに、通販業界の実務家を招き、講義を進めます。ダイレクト・マーケティングの進展は、小売業における店舗型から無店舗型への変化というだけでなく、メーカー、卸、小売、物流企業による流通システム全体に大き

な影響をもたらしつつあります。本講座は、このような展開を、広く学んでいきます。半期科目であり、春学期に新松戸キャンパスで開講しました。また、9月11日にベルーナの物流センターを見学しました。各回のテーマ、講師は表13のとおりです。受講生数は116人でした。